

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年04月01日

計画の名称	犬山市都市拠点地区都市再生整備計画													
計画の期間	令和06年度 ~ 令和10年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○		
交付対象	犬山市													
計画の目標	大目標：誰もが安心して住み続けられる都市とするための都市機能の集積、居住環境の形成と歴史観光まちづくりの推進 目標1：木曽川河畔空間を活かした滞在快適性と回遊性の向上 目標2：城下町地区の歴史的風致の維持及び向上 目標3：既存ストックを活用した良好な居住環境の形成													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		397	A	397	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和5年度	令和8年度	令和10年度
1	木曽川河畔空間の週末平均歩行者数を857人から950人に増加 閑散期の週末平均通行者数 木曽川河畔空間の活性化に向けた実証事業の継続や魅力向上をPRし、閑散期の歩行者数を増加させる。			
		857人	900人	950人
2	城下町来訪者へのアンケート調査に基づく満足度の割合を78%から80%へ増加 城下町来訪者へのアンケート調査に基づく満足度の割合 犬山城下町の滞在に満足している人の割合：（「満足」の回答者数）/（城下町来訪者へのアンケート調査の回答者数）×100			
		78%	78%	80%
3	市民意識調査に基づく「住みやすい」の回答の割合を71%から75%へ増加 市民意識調査に基づく「住みやすい」の回答の割合 犬山市は住みやすいと思っている人の割合：（「住みやすい」+「まあまあ住みやすい」の回答者数）/（市民意識調査の回答者数）×100			
		71%	71%	75%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	犬山市	直接	犬山市	-	-	犬山市都市拠点地区都市 再生整備計画	280ha 道路、高質空間形成 施設（緑化施設等）、街なみ 環境整備事業	犬山市	■	■	■	■	■	397	35.31	-	
											小計							397		
											合計							397		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	13				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	13				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	13				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 犬山市都市拠点地区都市再生整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]